

平和学習

8月9日（金）に平和学習を実施しました。今年度の平和学習の主な内容は担当からの解説講話の後、2年ほど前、本校の生徒会企画委員会の皆さんが、制作・発表した「今、黎明は訪れぬ」と題した朗読劇の録画映像を鑑賞しました。内容は長崎の原爆が本校の創立に深く関わる実話を元に創作された作品であり、生徒は戦争の悲惨さや平和の尊さについて理解を深めるとともに、本校が終戦直後の地域の人たちの熱い思いと願いに支えられて創建されたことを知ることができました。その後、各教室で感想を記入し、原爆投下時刻の11時2分に、黙祷を捧げました。

以下の文章は、生徒の感想の一部です。

- *この西彼杵高校ができたのも、あのような悲しいことがあったからだと知って驚いた。戦争は家族も友達も思い出も全部奪っていく本当にあってはならないことだと改めて感じました。（1年女子）
- *朗読劇を鑑賞して西彼杵高校ができるまでの過程を知り、平和の尊さを感じました。このようにつらい過去があって、この地に学校をつくりたいという地域の皆さんの強い気持ちが起こったことを知りましたが、私たちもこれまでの皆さんの思いを引き継いで、この西彼杵高校を残したいと強く思いました（1年男子）
- *朗読劇のなかで当時の情景や人々の心情などがリアルに再現されていて怖かった。家族と離れた環境で、急に家族と一生の別れが訪れるかもしれないと思うと、本当に一日一日の毎日を後悔しないよう大切に生きようと思いました。（2年女子）
- *朗読劇を鑑賞して、私は内容の深さと出演者の真に迫った演技力に驚かされました。私たちが、現在、当たり前のように学校に行けて好きなことができていることに感謝して全力で生きていきたいと思いましたし、平和な世界を実現するために、私自身も本当に微力ではありますが尽力したいと思いました（2年男子）
- *朗読劇を通して、西彼杵高校ができた理由と背景がよく理解できました。学校がたくさんの方の思いと努力があってできたのだと思うと、感謝の気持ちを忘れずに過ごそうと思いました。また、西彼杵高校の校歌の歌詞にもたくさんの意味が込められていることも知ることができてよかったです。今当たり前を感じていることにも感謝して生活していきたいです。（3年女子）
- *今回の平和学習を通して、今、私たちが、毎日を安心して過ごすことができるのは、まず昔の人たちが命をかけて日本を守ってくれたことだと感じています。そして原爆で犠牲になった方の無念の思いが、地域の皆さんの心を動かし西彼杵高校をつくってくださり、今の私たちの学校生活があることを深く感謝したいと思います。（3年男子）



